

単元名

もっとお米を知ろう！プロジェクト～お米のパワーをスペシャル番組でPRしよう～

本単元で育成する資質・能力

自己理解・自らへの自信

1 単元について

I：【考え・基礎知識】

和の文化に関する筆者の考えを観点や構成、資料の使われ方に着目して読み取る。

C：【つながり】

読み取ったことを活かして、自分たちが育てている米の文化・パワーについて調べて原稿を作る。

E：【応用・ひろがり】

米の文化・パワーについて伝える特集番組を収録して、地域に発信する。

児童の実態

- ★ 「授業では、自分の考えを積極的に伝えています」という質問に肯定的な児童は66.7%である。 ①
- 1学期の討論の学習で、自分の考えに説得力をもたせるために、資料を活用した児童は22人中1人である。 ②
- 目的をもって読書をし、本や文章から必要な情報を選ぶという経験は少ない。 ③

教材について

- 筆者の考えが複数の観点から書かれた説明文である。
→ 自分の課題について、情報を集める観点を参考にすることができる。
- 構成が分かりやすく、資料が活用されている説明文である。
→ 自分の考えの構成や、どんな資料をどのように活用するかについて参考にすることができる。
- プレゼンテーションの原稿例がある。
→ 分かりやすい説明を具体的に学ぶことができる。

育成したい資質・能力と目標 ★【資質・能力】 ○【国語科】

【自己理解・自らへの自信】

- ★ 学習の成果から達成感や自信をもち、学ぶことの意味や価値を考えることができる。 【原小学校 資質・能力ルーブリック レベル4】
- 助言や提案をし合い、説明をよりよいものにしていく。 【国語への関心・意欲・態度】
- ◎ 伝えたい内容や目的に合わせて、資料を活用して説明することができる。 【話すこと・聞くこと イ】
- 自分の意見や知識と比べたり、説明の構成や資料の使い方などに注意したりして聞き、自分の意見をまとめることができる。 【話すこと・聞くこと エ】
- 自分の課題を解決するために、複数の本や文章などを比べて読み、必要な情報を選ぶことができる。 【読むこと カ】
- 文章のいろいろな構成について理解することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ)】

単元を貫く言語活動とその特徴

「お米の文化やパワーについて、4年生や地域の方に特集番組でPRする」活動を設定する。特集番組は、視聴者に分かりやすく伝えるために、取材をした情報を整理し、資料等を活用しながら説明するものである。自分たちの育てた米の文化やパワーを4年生や地域の方に伝えるための特集番組作りを通して、目的意識や相手意識をもち、主体的に必要な情報を収集・整理・分析し、「どんな資料をどのように活用して説明するのか」を思考することができ、本単元の目標を実現することができる。と考える。

指導のポイント

- ① 特集番組を4年生用と地域用と2本作ることで、児童全員が話せる場面を作り、相互に助言し合い、自信が付きやすくなる。
- ② どんな資料をどのように活用して説明するのかということを考える学習過程で、交流をして資料の必要性や効果に気付かせる。
- ③ 自分の課題を解決するために、本や文章を読むという必然性をもたせる。
- ※ 情報をコンセプトマップや短冊・カードに整理して、関係や関連を考えられるようにする。

2 単元の評価規準

<p>資質・能力 【自己理解・自らへの自信】</p>	<p>★ 4年生や地域の方に特集番組を見せて、その感想や意見を返してもらうことで、達成感や自信をもっている。 【原小学校 資質・能力ルーブリック レベル3】</p> <p>★ 「もっとお米を知ろう！プロジェクト」の学習を振り返り、自分にとって、学ぶことの意味や価値を考えている。 【原小学校 資質・能力ルーブリック レベル4】</p>		
<p>国語への関心・意欲・態度</p>	<p>話す・聞く能力</p>	<p>読む能力</p>	<p>言語についての知識・理解・技能</p>
<p>○ 友達と発表を聞き合い、よりよいものになるように助言や提案をしようとしている。</p>	<p>○ 自分の伝えたい内容が視聴者に明確に伝わるように資料を効果的に活用して説明している。 (イ)</p> <p>○ 話し手の意図がより伝わるようにするために、修正点を考えながら聞き、具体的にはどうすればよいかを考えて助言・提案している。 (エ)</p>	<p>○ 自分の設定した課題について、調べたいことを複数の本や文章などを比べて読み、観点に沿って必要な情報を選んでいる。 (カ)</p>	<p>○ 文章のいろいろな構成について理解している。 (キ)</p>

3 単元の計画 (全 15 時間)

次	時	学 習 内 容	評 価				
			関	話	読	言	
単 元 前		<ul style="list-style-type: none"> 今後の米作りや収穫した米をどうするのかについて話し合う。 (総合的な学習の時間) 				○教科の評価規準 (評価方法) ★資質・能力の評価規準 (評価方法) (4年生に米作りを受けついで欲しいという願いや、米の文化やパワーを調べて4年生に伝えたいという意欲をもたせる。)	
1	1 2 3	情報の収集 1 (2) <ul style="list-style-type: none"> 米について調べる観点について、教材文で読み取る。 課題設定 (1) <ul style="list-style-type: none"> 実際の特集番組を見て、情報を伝えるための工夫に気づき、自分たちも作成したいという意欲をもつ。 	○		◎	○	○ 文章構成を基に、「和の文化」に対する筆者の考えと米について調べる観点を読み取っている。 (ノート・児童観察) ○ 特集番組の伝え方の工夫に気付いている。 (ノート・児童観察)
2	5 6 7 8 9 10 11	情報の収集 2 (2) <ul style="list-style-type: none"> 米について設定した課題のグループごとに、いろいろな本や資料で観点到に沿って調べる。 整理・分析 (5) <ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を選んだり組み合わせたりして、説明する内容と構成を考える。 (総合的な学習の時間に資料を作成) 発表原稿を作成する。 伝えたい内容が明確に伝わる資料の使い方になっているかを考える。 【本時・久本】 助言を受けたことを基に、資料や原稿の修正を行う。 			○		○ 自分の設定した課題について、調べたいことを複数の本や文章などを比べて読み、必要な情報を選んでいる。 (ノート・児童観察) ○ 集めた情報を整理し、必要な情報を選んだり組み合わせたりして、説明の内容と構成を考えている。 (ノート・児童観察) ○ 説明の構成や資料の使い方に注意して、発表原稿を書いている。 (ノート) ○ 事柄が明確に伝わるように、必要な資料を考えている。 (ノート・児童観察) ★ 交流を通して、自分の資料の改善点や効果に気づき、発表への自信や今後の目標をもっている。 (ノート・児童観察) ○ 友達の助言や提案を生かして説明をよりよいものにしてしようとしている。 (ノート・児童観察)
3	12 13 14 15	まとめ・創造・表現 (3) <ul style="list-style-type: none"> 各班の発表をまとめて全体の構成を考える。【本時・加島】 友達同士で助言し合いながら発表の練習を行う。 特集番組の収録をする。 ふりかえり (1) <ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返って、「ふりかえり」を書く。 			○		○ 自分たちの特集番組の意図がより伝わるようにするために、各班の発表をどの順番にすればよいか、その理由を考えている。 (ホワイトボード・ワークシート・児童観察) ★ 交流を通して、自分たちの発表のよさや可能性に気付いている。 (ノート) ○ 話し手の意図がより伝わる説明にするには、どこをどのように修正すればよいかを助言している。 (ノート・児童観察) ○ 自分の伝えたい内容が視聴者に明確に伝わるように資料を効果的に活用して発表している。 (児童観察・DVD) ○ 学習を振り返って4年生に向けて発表することへの意欲や学習したことで今後に生かしていきたいことについて、自分の意見をまとめている。 (ノート) ★ 学習の成果から、達成感や自信をもち、自分のよさや可能性に気付いている。 (ノート)
単 元 後		<ul style="list-style-type: none"> 「三ツ池交流会」で制作したテレビ番組を放映する。 4年生への説明会で制作したテレビ番組も使って米作りについて説明する。 					★ 地域の方や4年生の感想を聞いたり読んだりして、達成感や自信をもち、自分のよさや可能性に気付いている。 ★ 自分にとって、学ぶことの意味や価値を考えている。 (ワークシート)

4 本時の展開 (本時 10/15)

(1) 本時の目標

★ 交流を通して、自分の資料の改善点や効果に気付き、発表への自信や今後の目標をもっている。

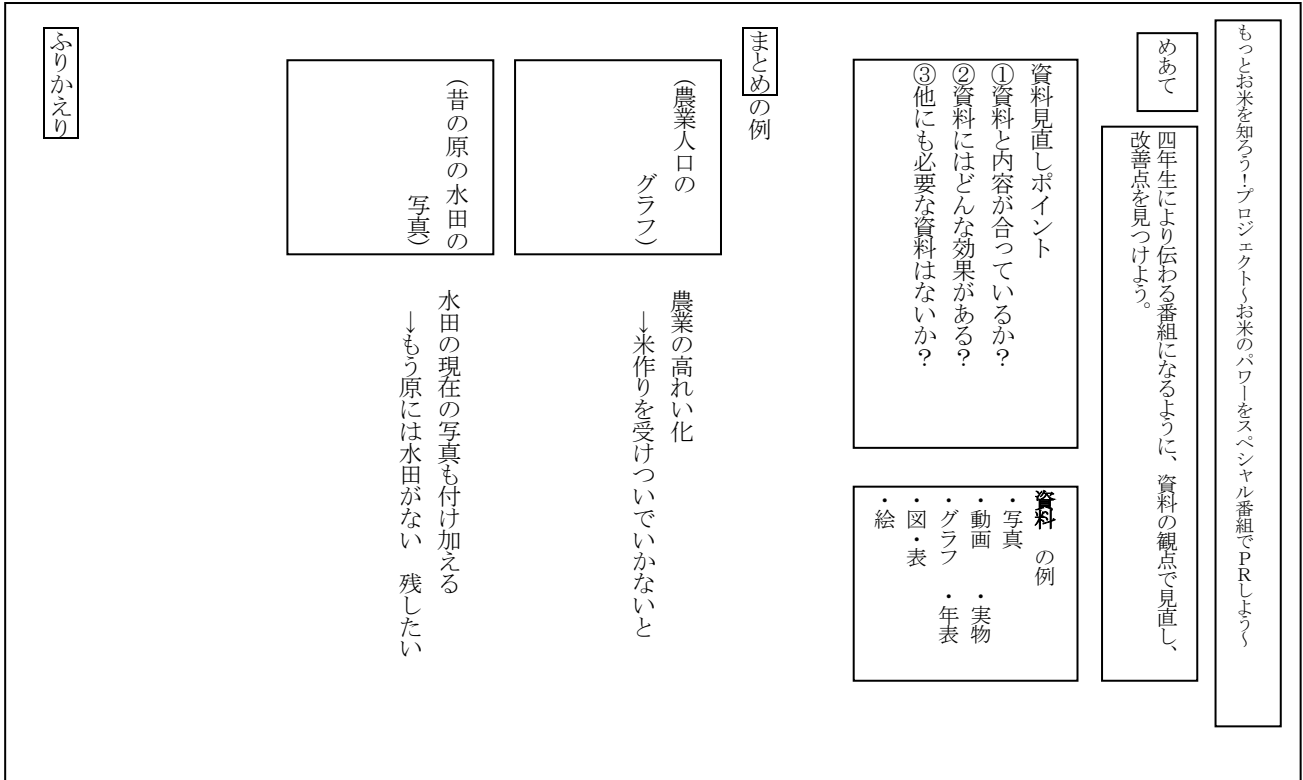
【自己理解・自らへの自信】

○ 発表する事柄が明確に伝わるように、必要な資料を考えることができる。【話すこと・聞くこと イ】

(2) 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 児童と共に立てた学習計画を確かめ、何のために本時の学習をするのか、目的意識をもって学習に取り組めるようにする。 	
	4年生により内容が伝わる番組になるように、資料を見直し、改善点を見つけよう。		
考える	2 班で原稿と資料を確認したり、発表練習をしたりしながら、資料と原稿との関連について話し合う。 3 二つの班が1グループとなり、お互いに発表をして助言し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 実際に資料を使って班で発表練習をしながら考えるようにさせる。 その資料を選んだ理由も考えるようにさせる。 グループで、資料から読み取れる情報とそれに対する伝えたいことが整合しているかを確認させる。 資料と原稿が合っている場合は、その資料があることによる効果も考えさせる。 資料が不足しているため発表内容が明確になっていないかについても考えさせる。 ◆ 友達の考えを聞いて、自分の考えをもてるようにする。 ◆ 資料の種類を示した掲示物を参考にさせる。 	
深める	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 見直しポイント ○つながり ○効果 ○不足やつけ加え </div>		
まとめる	4 学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> 友達からの助言や提案を受けて、自分たちの資料のよかった点や改善点について話し合わせ、できる範囲で修正をする。 資料に関して、よかった点と改善点について、数グループに発表をさせる。 	○ 見直しポイント（原稿との整合・効果・過不足）に沿って資料を見直し、改善点を考えている。（ノート・行動観察） ★ 交流を通して、自分の資料の改善点や効果に気付き、発表への自信や今後の目標をもっている。（ノート）
	まとめの例 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> わたしたちは、「原の米・日本の米の現状」グループです。よかった資料は、日本の農業を支えている人の平均年齢が分かるグラフを入れたことです。4年生にこのままでは日本の米作りは大変だ、だから米作りを受けつがないといけないと思ってもらえると思います。 改善点は、水田があったところの写真に付け加えて、水田があった場所の現在の姿の写真を入れることです。なぜなら、もう水田はないのだということがはっきり分かり、4年生へも原小学校に水田を残したいという思いが高まると思うからです。できれば水田があったところの写真も入れたいです。 </div>		
	5 学習のふり返しをする。		
	ふり返りの例 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 4年生の立場に立って考えることで、より効果的な資料が見えてくる。 年表にも、内容と整合させるために図や写真を入れるとよく分かる。 必要な数値を引用したり、図を入れたりすることでより相手に伝わる。 </div>		

5 板書計画



6 資質・能力のICEルーブリック【自己理解・自らへの自信】

	I : 考え, 基礎知識	C : つながり	E : 応用, 広がり
「原小学校 資質・能力ルーブリック」より	【気付き】 友達との交流や学習の成果から、自分のよさや可能性に気付いている。	【価値付け】 レベル4 学習の成果から、達成感や自信をもち、学ぶことの意味や価値を考えている。	【生き方の創造】 レベル5 学んだことを現在及び未来の自己の生き方につなげて考えている。

4 本時の展開 (本時 12/15)

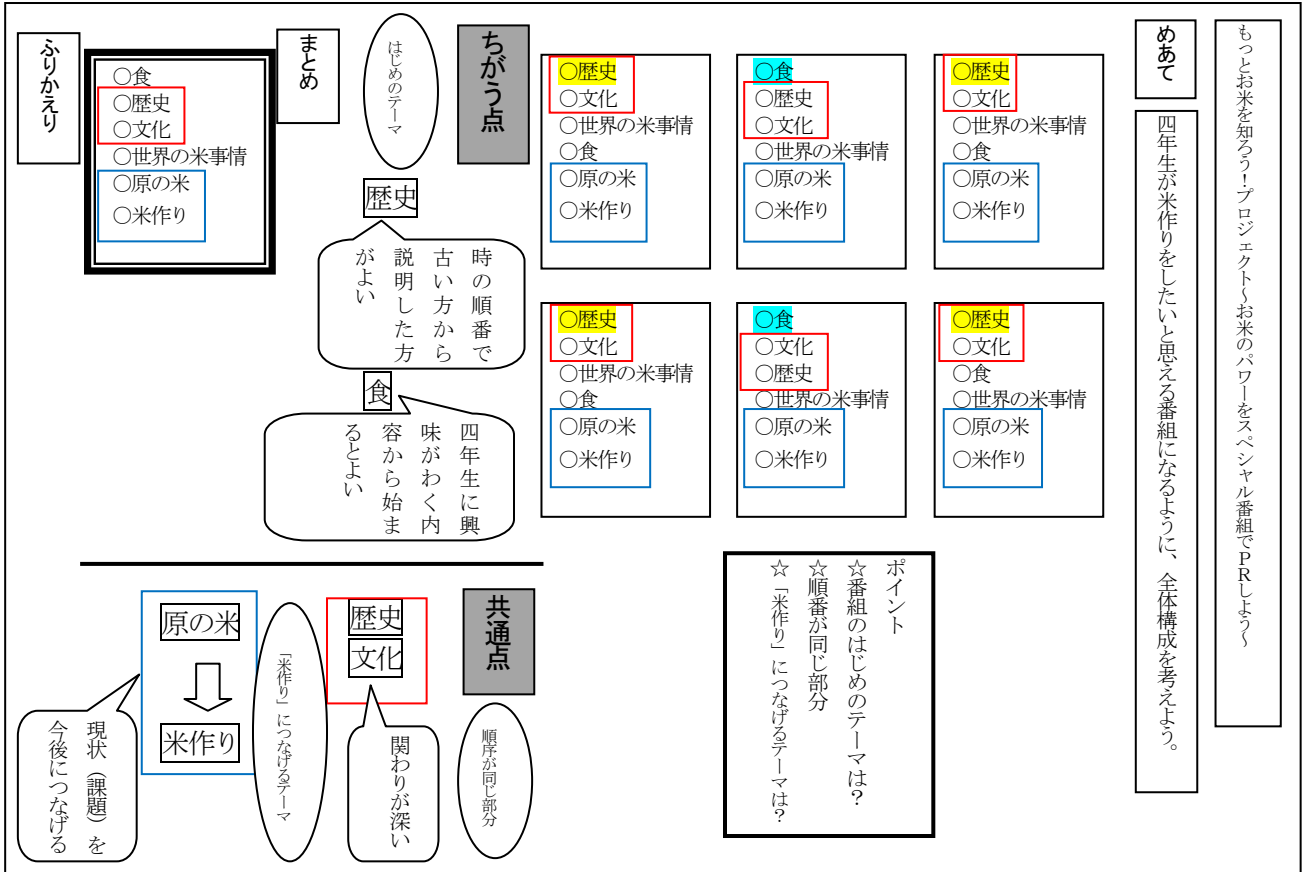
(1) 本時の目標

- ★ 交流を通して、自分たちの発表のよさや可能性に気付いている。 【自己理解・自らへの自信】
- 各コーナーの友達の発表を、意図とそれぞれのつながりを考えながら聞き、全体構成を工夫することができる。 【話すこと・聞くことエ】

(2) 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童と共に立てた学習計画を確かめ、何のために本時の学習をするのか、目的意識をもって学習に取り組めるようにする。 	
	4年生が米作りをしたいと思うような番組になるように、おすすめの全体構成を考えよう。		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年生が「米作りをしたい」「米作りをしなければならぬ」と思わせるような構成にすることを確認する。 ・ 発表順の一番最後は、自分たちの「米づくり」に関する内容にすることは決定させておく。 	
考える 深める	2 各班の発表の映像を見て、どの順序で発表するとよいかを考える。 (1) 個人で考える。 (2) 班で考える。 (3) 全体交流をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に撮影していた動画を視聴させる。(約10分) ◆ 各班のテーマとキーワード(個人のテーマ)をまとめたものを見ながら考えられるようにする。 ・ 各班の発表内容の関連を考えて、コンセプトマップにまとめさせる。 ◆ 書き方の例を示す。(線・矢印・番号) ・ ホワイトボードで、各班のタイトルカードを操作しながら、考えさせる。 ・ なぜ、そのような順序にしたのか、理由を説明させる。 ・ 各班の共通点や相違点を基に分類・整理させ、順序を決定させる。 	
まとめる	4 本時のまとめをする。 【まとめの例】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出された意見を板書で整理して集約していく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>おすすめポイント</p> <p>始めは、食のテーマで4年生の興味を引きつけられる。歴史と文化は時代の順に関係があるので続ける。原の地域の水田はなくなってしまったからこそ、原小には「水田を残してほしい」という流れでつながる。</p> </div>	○ 自分たちの発表の意図がより伝わるようにするために、各班の発表をどの順番にすればよいか、その理由を考えている。(ホワイトボード・ワークシート)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 食 2 歴史 3 文化 4 世界の米事情 5 原の米 6 米作り </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 米作りをしたい 米づくりをしなくては </div>		
	5 ふり返しをし、次時への見通しをもつ。 【ふりかえりの例】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次は、4年生に伝わるような話し方を工夫したい。 ・ 次は、コーナーとコーナーのつながりの言葉を考えたい。 ・ みんなが調べていることは関係があることに気づいた。 ・ 放送の流れがよくなったので、4年生に伝わると思う。 	★ 交流を通して自分たちの発表のよさや可能性に気付いている。(ワークシート・児童観察)

5 板書計画



6 資質・能力のICEルーブリック【自己理解・自らへの自信】

	I : 考え, 基礎知識	C : つながり	E : 応用, 広がり
「原小学校 資質・能力ルーブリック」より	【気づき】 友達との交流や学習の成果から、自分のよさや可能性に気付いている。	【価値付け】 レベル4 学習の成果から、達成感や自信をもち、学ぶことの意味や価値を考えている。	【生き方の創造】 レベル5 学んだことを現在及び未来の自己の生き方につなげて考えている。